

CPD参加票については、これまでの「本会におけるCPD参加に関わる書面様式の統一について」に代わり、下記のとおり「本会におけるCPD参加に関わるCPD参加票について」に基づき運用することとします。

本会におけるCPD参加に関わるCPD参加票について

研修委員会 継続研鑽小委員会

1. 目的

本会でのCPD行事にて配布される参加証等の様式が主催者により異なっており保管上も不都合であること、本会組織以外の団体もこれを利用していることなどから、下記のとおり運用を図ることとする。

2. CPD参加票についての基本的考え方

- * CPD実施に当たり課題・形態の選択、実施の説明責任などを最高水準の技術者として認められた技術士本人の自主的判断に委ねるとする「技術士CPD」についての基本思想を尊重し、CPD実施を主催者が証明することに繋がりにかぬ「証」とはせず、「参加票」とする。
- * 主催者側にて、CPD行事に関する基本事項を事前に記入しておくことで、参加者がCPD実施の記録を行う上での利便性を図る。
- * 「行事内容」欄については、行事毎に多様な内容への対応を考慮し、単一の記入欄とし主催者側での記載の自由度を確保する。
- * 押印については、主催者が多様であり、印章管理の問題も生じることなどから省略する。押印に代わり、行事毎の発行連番を主催者が発行時に記入することで、証憑性を高める。
- * CPDに寄与した内容などについて参加者自身が記入する欄を様式内に設けることで、CPD記録用紙としても一体化した運用を可能とする。(CPD記録としての行事案内、配布資料等の保管に代えることが可能となる。)
- * 運用開始後も、利用者及び主催者の反響等を考慮し、随時様式の見直しは行うものとする。

3. CPD参加票の運用について

- (1) 地域本部、支部、部会、委員会等の本会の組織が主催して実施する全てのCPD行事における参加票は、別紙の様式に極力統一することとする。
- (2) 発行日、開始日時、終了日時、行事名、主催者、開催場所、行事内容等は主催者において事前に記入する。その際、行事内容は記入例を参考に極力簡明な記載とし、参加者記入欄も含めA4用紙1ページに収めると共に、参加者記入欄が全体の1/2程度は確保されるよう考慮すること。
- (3) 参加票には押印は行わないこととするが、行事毎の発行連番を記入することで押印に代える。
- (4) 主催者は必要な枚数を事前に用意し受付時に参加者に配布し、参加者がCPDに寄与した内容などについて受講中にも記入できるよう配慮する。
- (5) 主催者はCPD参加者の名簿を作成すること。
- (6) CPD参加票の様式は、本会ホームページに掲載し、各主催者の利用を促進する。

注) 本会以外の団体がこの様式を利用される場合は、参加票の表題及び主催者の欄に「日本技術士会」の名称を記すことは差し控えて下さい。

以上

別紙：統一型「CPD参加票」の発行例
(着色部は主催者が記入)

主催者が行事毎の
連番を記入

No.

2020年7月31日発行

公益社団法人日本技術士会 CPD行事 参加票

この参加票は、以下のCPD行事の参加者に限り主催者が発行するものです。

開始日時	2020年7月31日(金) 17時00分
終了日時	2020年7月31日(金) 20時00分
名称	■■■本部 7月度技術士 CPD 講演会 「●●●●●技術の最新の動向と今後の課題」
主催者	公益社団法人日本技術士会 ■■■本部
開催場所	■■■記念会館 大会議室
行事内容	講演1 「 ●●●●●技術の近年の成果と今後の課題について 」 ■■■■■氏 [●●●大学 名誉教授] 講演2 「 ●●●●●技術によるイノベーション 」 ■■■■■氏 [●●●●●株式会社 技術本部 部長]

以下の欄は、CPD実施のメモとしてご活用下さい。

氏名：

所属：

形態区分		課題項目		CPD時間		重み係数	
(CPDに寄与した内容の記録欄)							

(注) 本会以外の団体がこの様式を利用される場合は、参加票の表題及び主催者の欄に「日本技術士会」の名称を記すことは差し控えて下さい。